

小学校区を構成する町丁目	玉造五丁目、玉造七丁目、玉造六丁目、山口		
--------------	----------------------	--	--

面積		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
面積		0.55 (km ²)	213.84 (km ²)	0.26 (%)	
人口・家屋の分布状況	人口	3,468 (人)	132,404 (人)	2.62 (%)	
	人口密度	6,273.17 (人/km ²)	619.17 (人/km ²)	—	
	男女別人口	男	1,680 (人)	66,487 (人)	2.53 (%)
		女	1,788 (人)	65,917 (人)	2.71 (%)
	世帯数	825 (世帯)	27,819 (世帯)	2.97 (%)	
	0歳以上～15歳未満	1,352 (人)	59,910 (人)	2.26 (%)	
	15歳以上～65歳未満	464 (人)	18,647 (人)	2.49 (%)	
	65歳以上～	2,179 (人)	85,938 (人)	2.54 (%)	
	65歳以上の独居者	15 (人)	1,107 (人)	1.36 (%)	
	避難行動要支援者	58 (人)	2,279 (人)	2.54 (%)	
外国人居住者	39 (人)	3,977 (人)	0.98 (%)		
建物分布状況	建物棟数	1,023 (棟)	56,677 (棟)	1.81 (%)	
	木造(S55以前)	84 (棟)	13,866 (棟)	0.61 (%)	
	木造(S56以降)	648 (棟)	29,933 (棟)	2.17 (%)	
	RC・SRC造	28 (棟)	2,236 (棟)	1.27 (%)	
	S造	259 (棟)	9,453 (棟)	2.74 (%)	
	その他	3 (棟)	1,189 (棟)	0.26 (%)	
密集度	1,851.06 (棟/km ²)	265.04 (棟/km ²)	—		

自主防災組織結成状況	組織数	4	世帯数	547	結成率	0.66 (%)
------------	-----	---	-----	-----	-----	----------

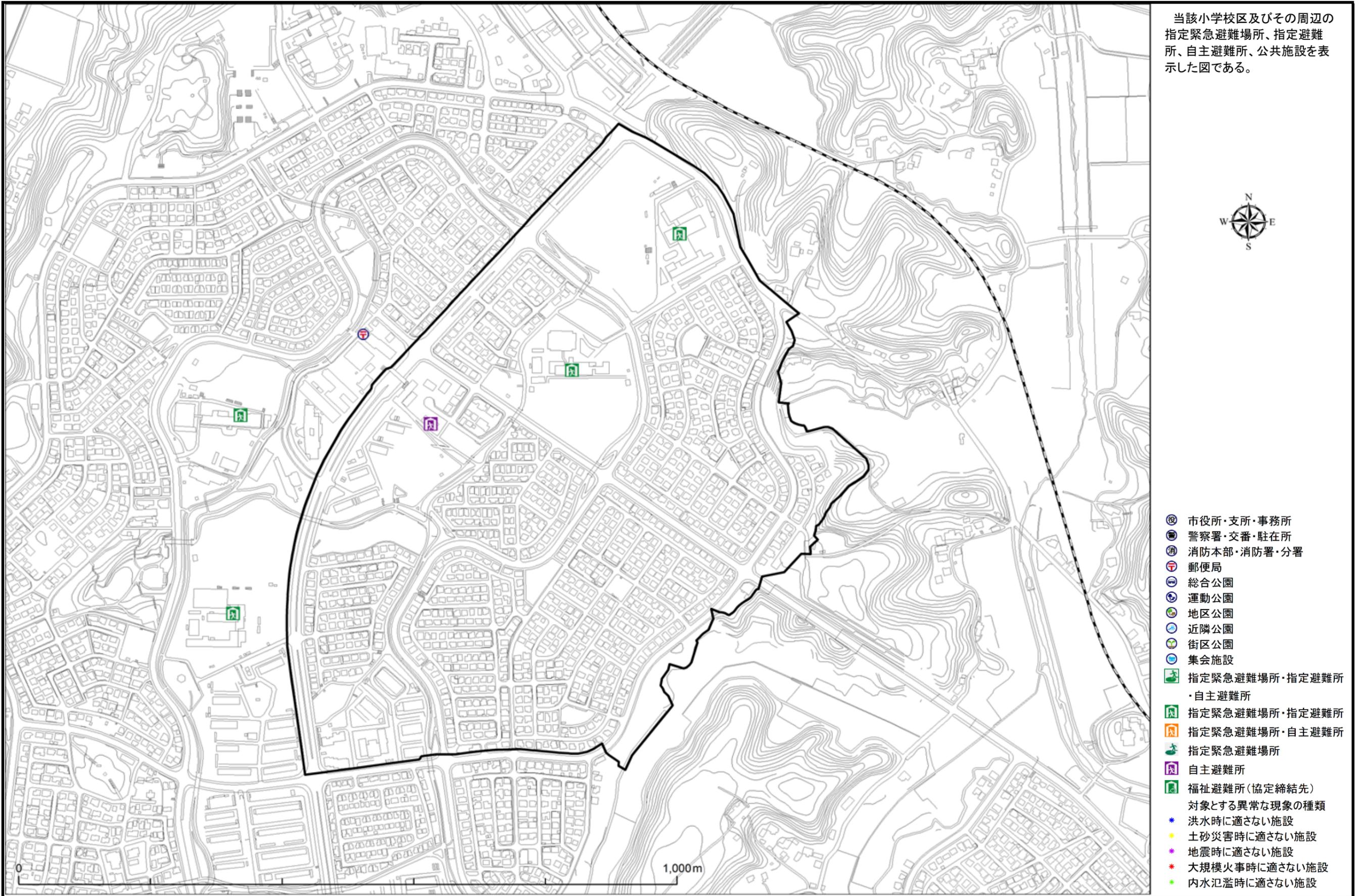
防災関連施設	消防本部・消防署・分署	—				
	消防団	—				
	警察署・交番・駐在所	—				
	市役所・支所・事務所・集会所等	—				
	種類	箇所数	種別	箇所数	種別	箇所数
	防災井戸	0	給水栓	1	給水拠点	0
	防災倉庫	2	資材置場	0	水防倉庫	0
	消防団器具庫	0	AED設置施設	4	災害拠点病院	0
	病院・診療所	2	歯科医院	1	福祉施設	0
	保育所・幼稚園等	0	水位観測所	0	雨量観測所	0
防災行政無線屋外子局	1	ヘリコプター臨時離着場	0	ドクターヘリ臨時離着場	1	
震度計	0	郵便局	0	公園	5	

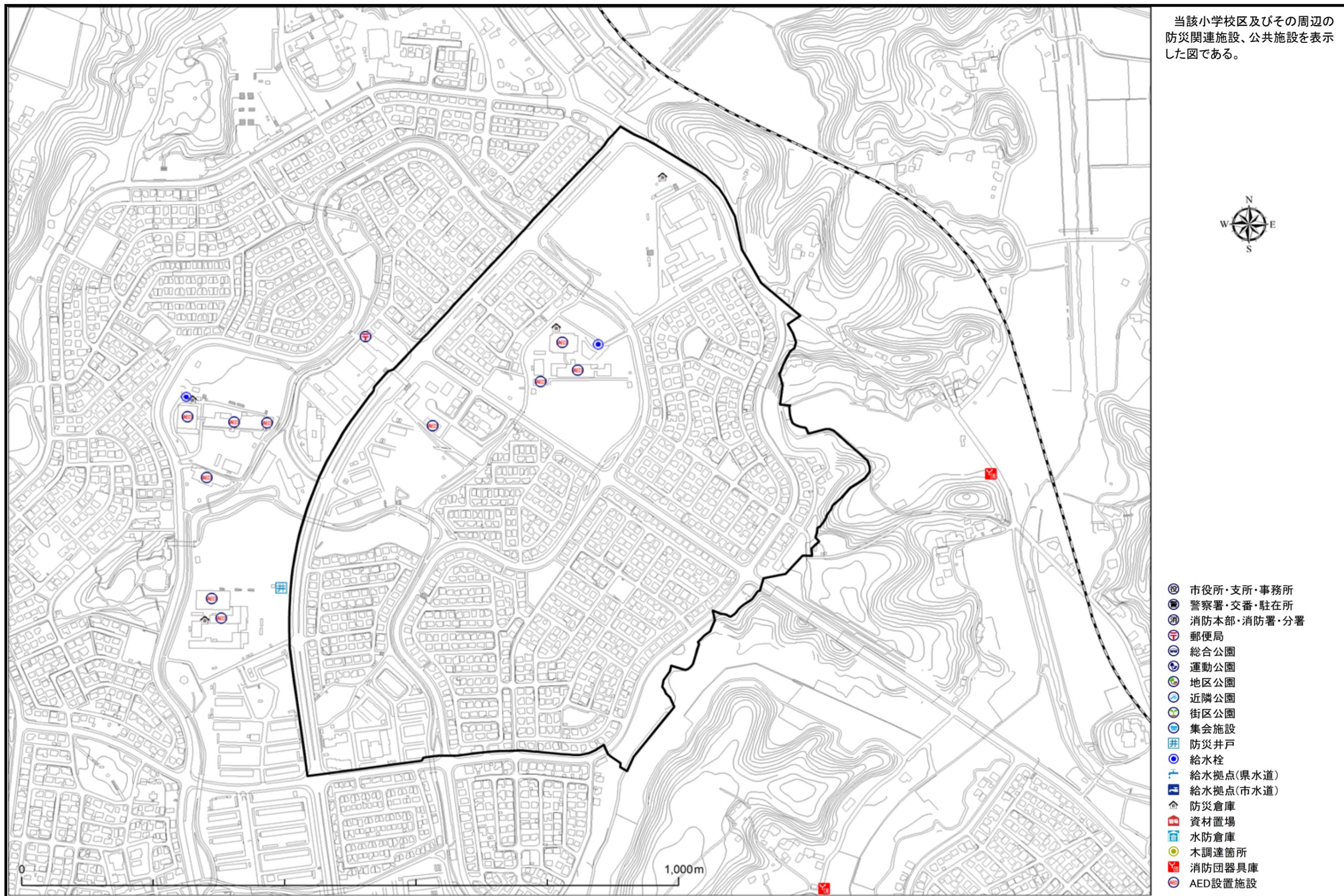
避難施設	種類				施設名称	収容人数(人)	
	指定緊急避難場所	指定避難所	自主避難所	福祉避難所		指定緊急避難場所	指定避難所
●	●			成田北高等学校	7,037	404	
●	●			神宮寺小学校	3,366	275	
		●		玉造公民館	—	—	
収容人数合計					10,403	679	

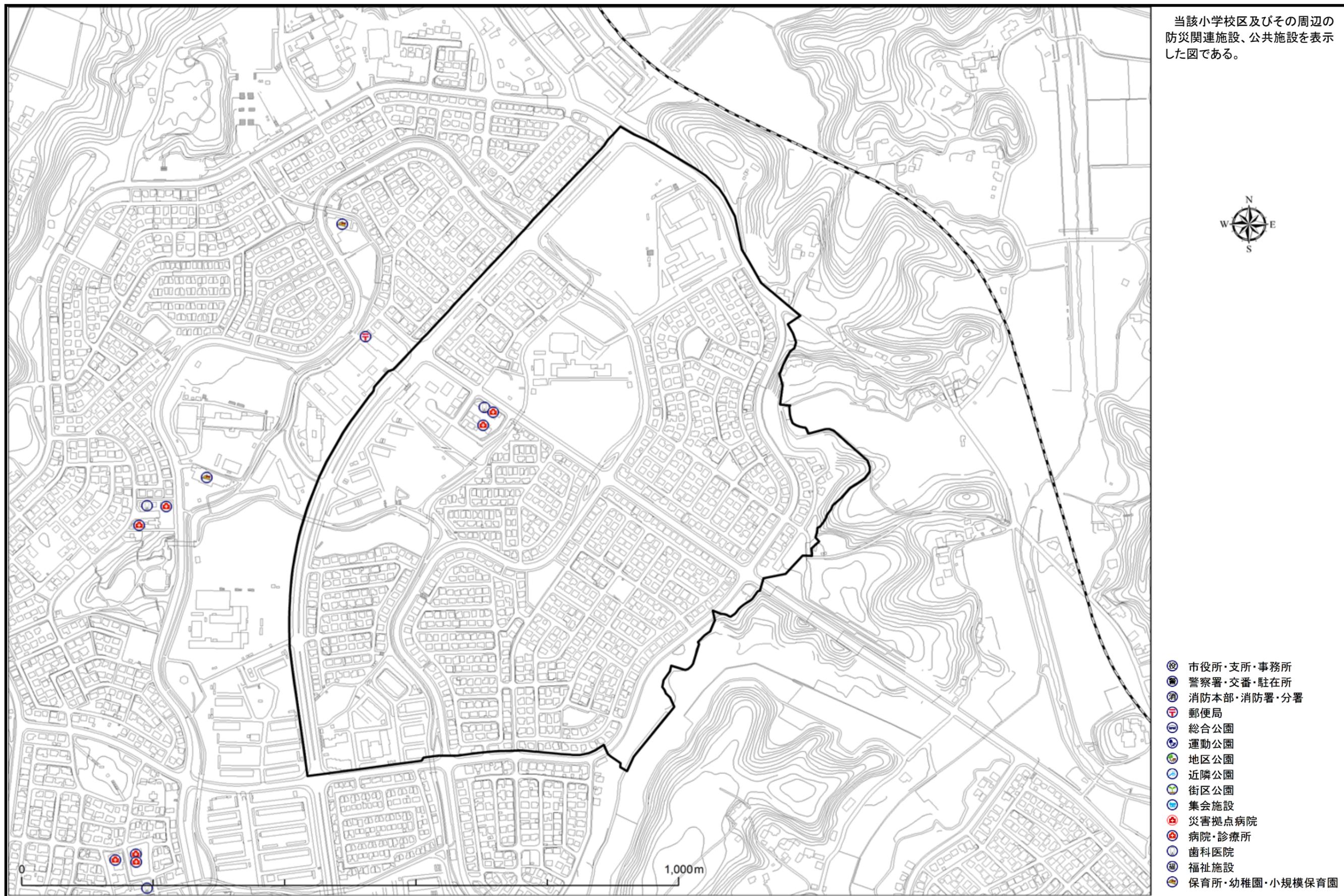
洪水被害想定	利根川浸水想定区域			根木名川浸水想定区域		
	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)
浸水面積(km ²)	0.00	38.43	0.00%	0.00	16.17	0.00%
浸水する建物数(棟)	0	5,565	0.00%	0	1,428	0.00%
避難の対象者数(人)	0	6,025	0.00%	0	2,238	0.00%

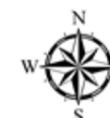
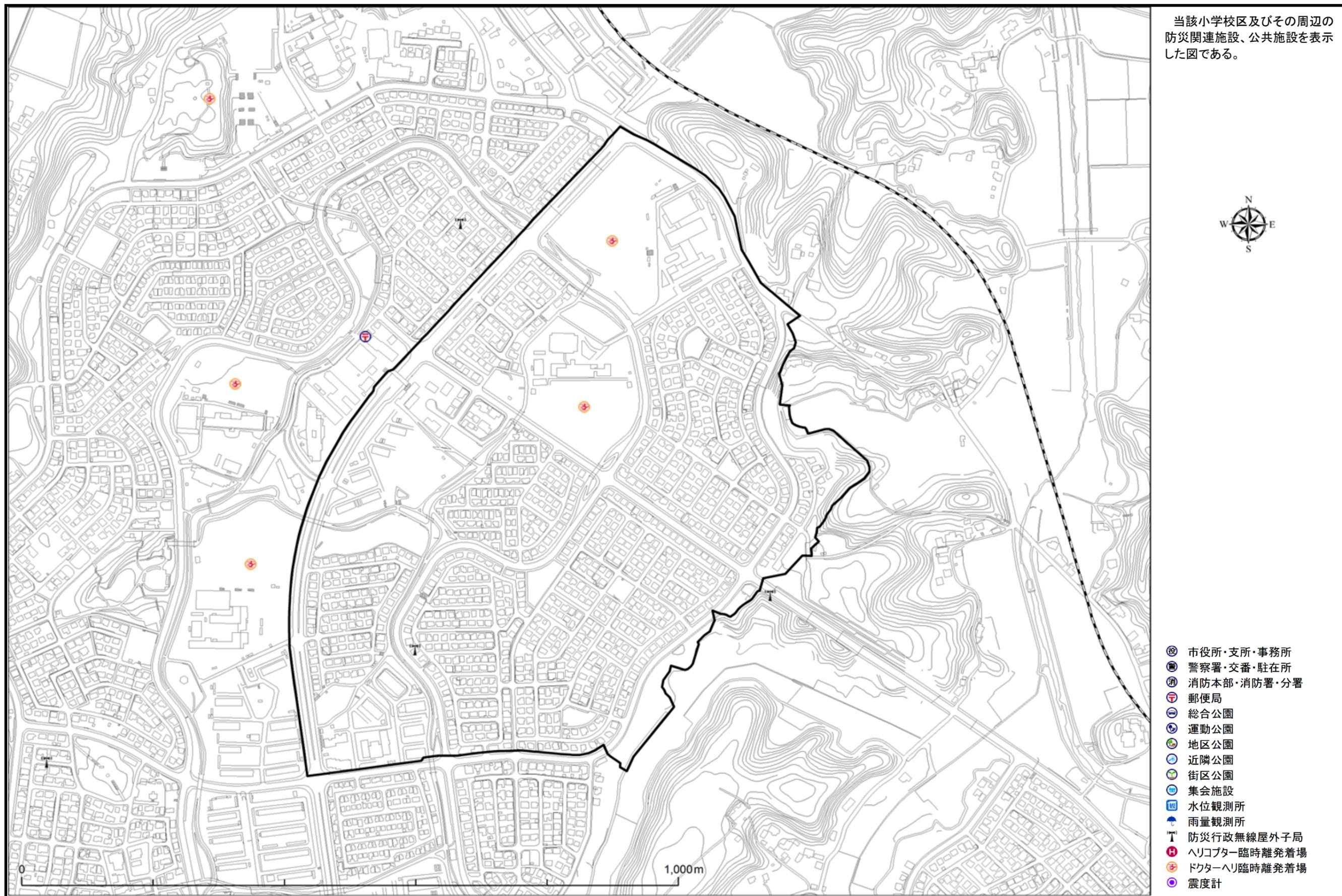
土砂災害被害想定	箇所数(箇所・地区)		重なる面積(ha)		重なる建物数(棟)		避難の対象者数(人)	
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
急傾斜地崩壊危険箇所	0	0	0	0	0	0	0	0
土砂災害警戒区域	0	0	0	0	0	0	0	0
うち特別警戒区域	0	0	0	0	0	0	0	0
山腹崩壊危険地区	0	0	0	0	0	0	0	0

地震被害想定結果	震度階級					液状化危険度								
	5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL					
面積(km ²)	0.00	0.00	0.55	0.00	0.00	0.45	0.10	0.00	0.00					
建物被害(棟, 出火件数のみ件)					人的被害(人)									
小学校区(a)					市全体合計(b)					割合(a/b)				
木造 全壊	10	1,779	0.55%	死者数	0	16	0.93%							
木造 半壊	67	5,752	1.16%	負傷者数	14	1,471	0.95%							
非木造 全壊	6	300	1.96%	重傷者数	1	198	0.51%							
非木造 半壊	1	232	0.40%	軽傷者数	13	1,273	1.02%							
出火件数	0	5	2.27%	要救助者数	1	66	2.25%							
焼失棟数	0	17	2.17%	避難者数	573	18,189	3.15%							
上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)									
小学校区(a)					市全体合計(b)					割合(a/b)				
断水人口	1,521	37,668	4.04%	支障人口	63	3,341	1.89%							

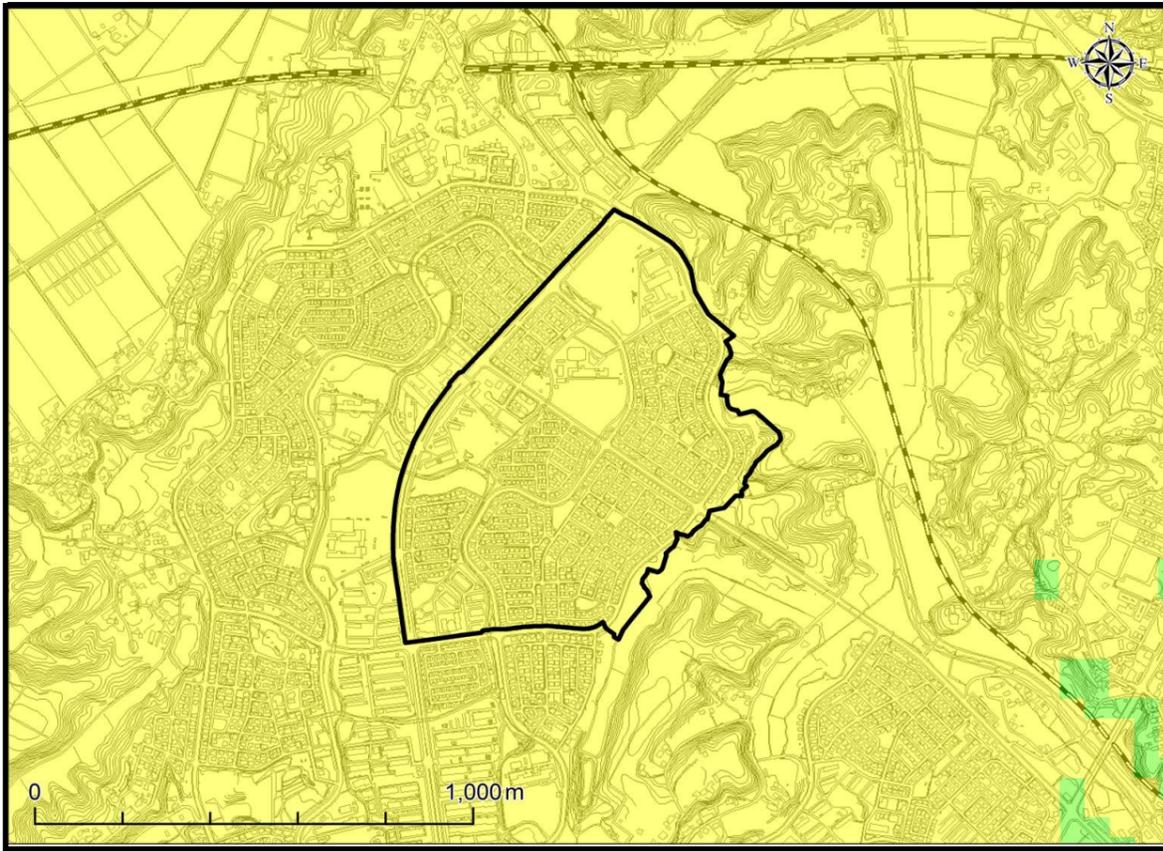




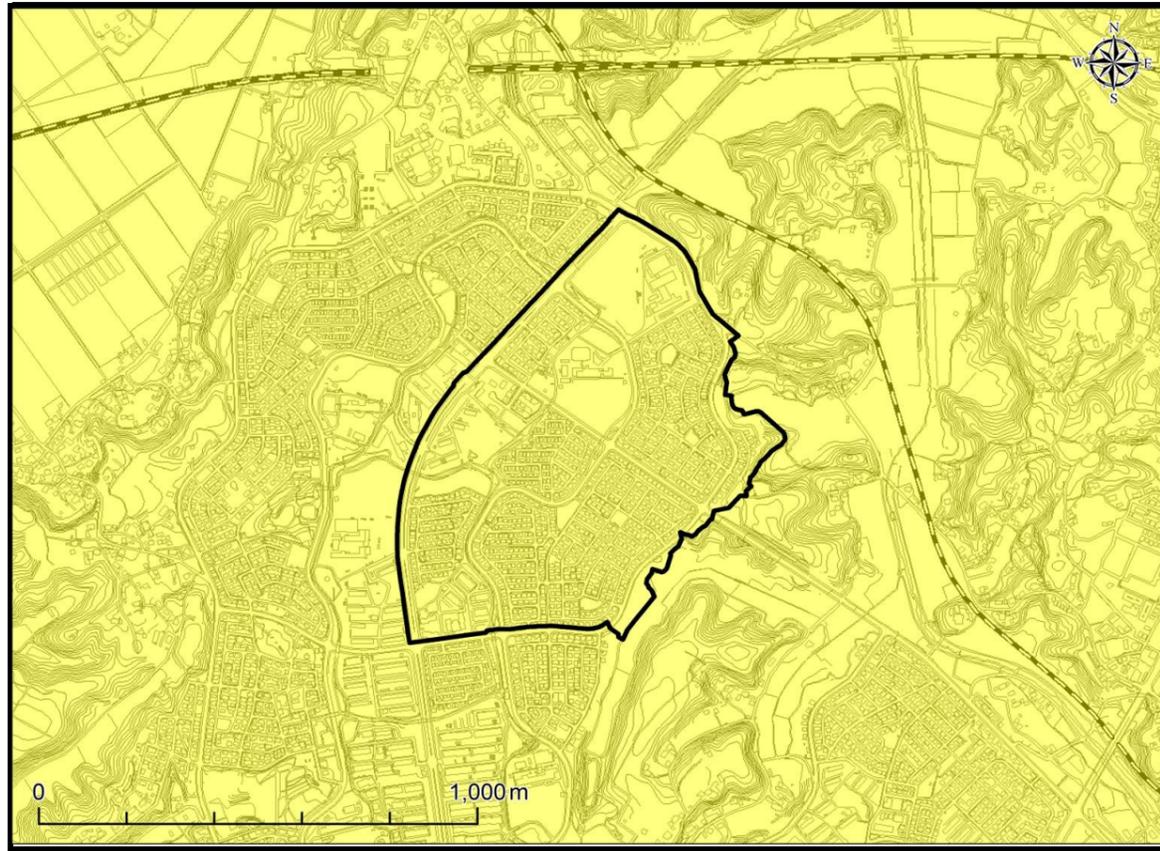




●想定震度階級 (A. 千葉県北西部直下地震)



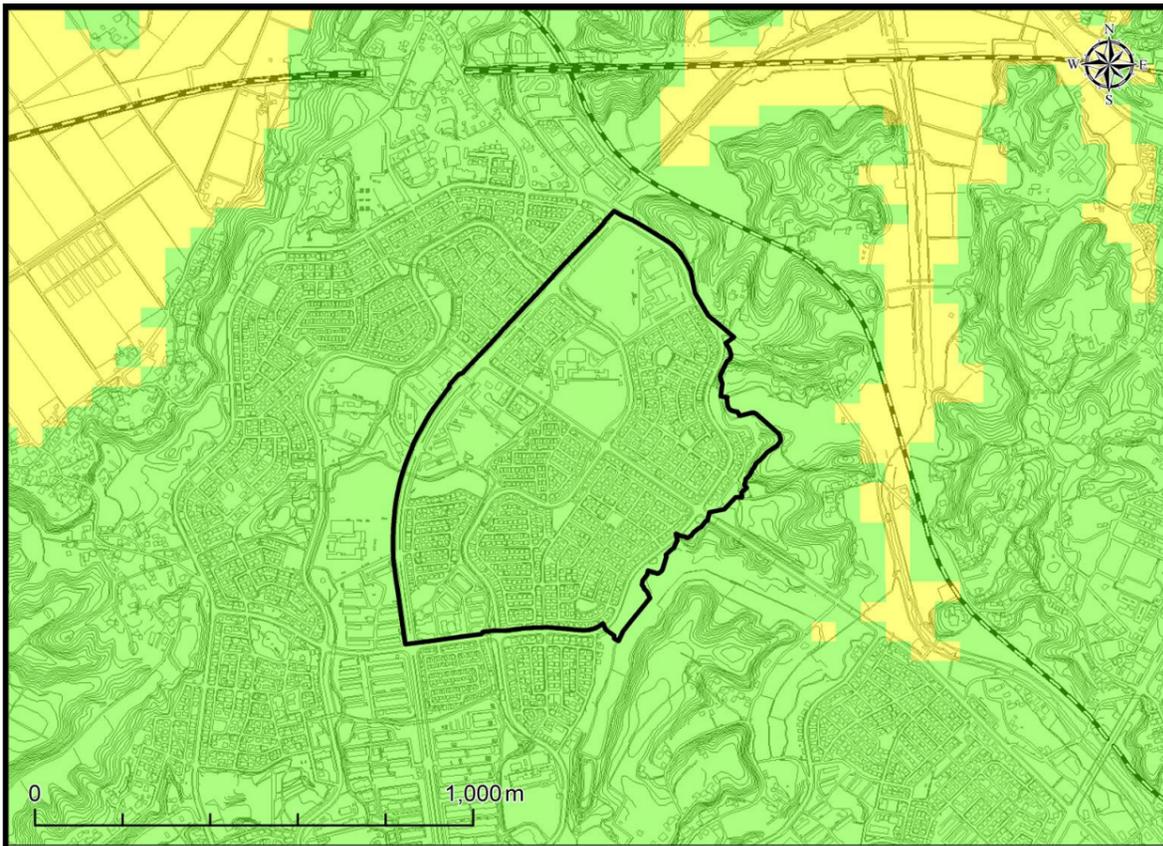
●想定震度階級 (B. 成田空港直下地震)



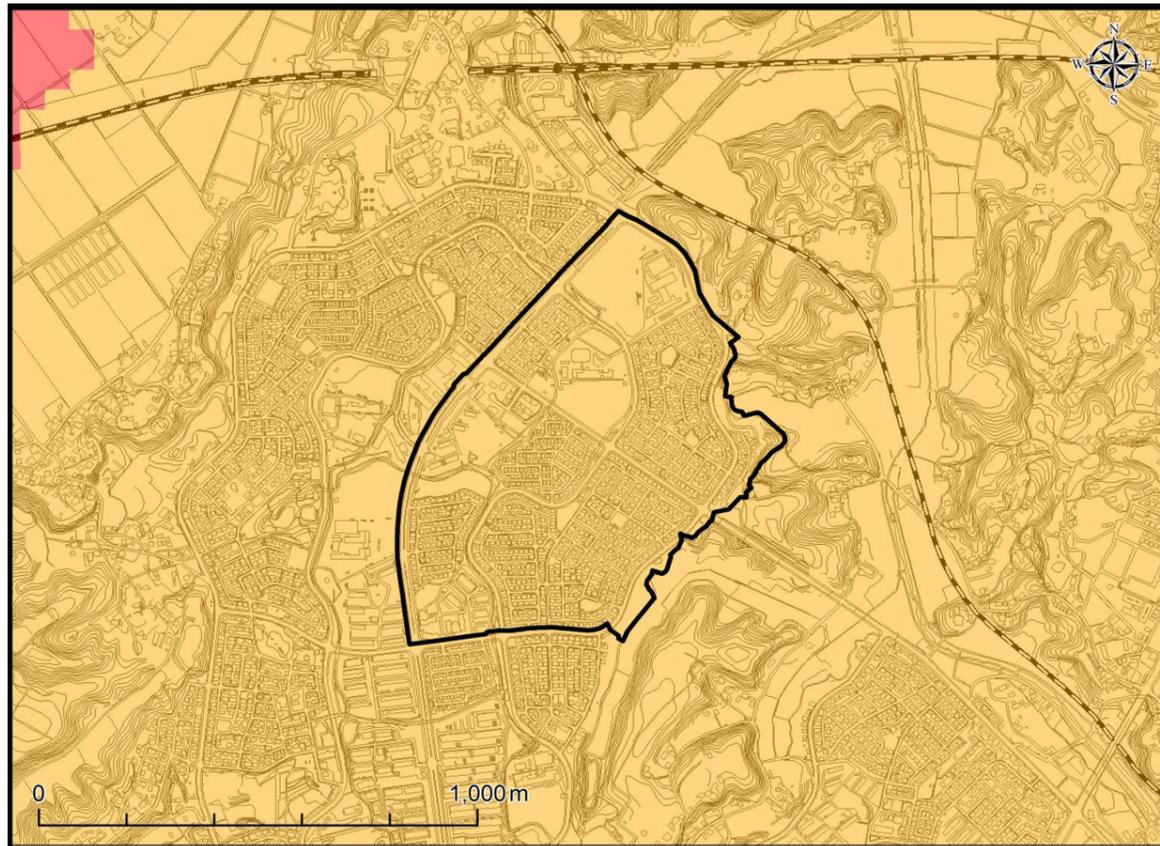
当該小学校区の震度階級を、想定地震別に50mメッシュで表示した図である。

なお、震度は、地盤条件、地震の規模(マグニチュード)や震源の深さ、震源からの距離等によって異なる。このため、相対的なゆれの強さは地震によって異なる。

●想定震度階級 (C. 茨城県南部地震)

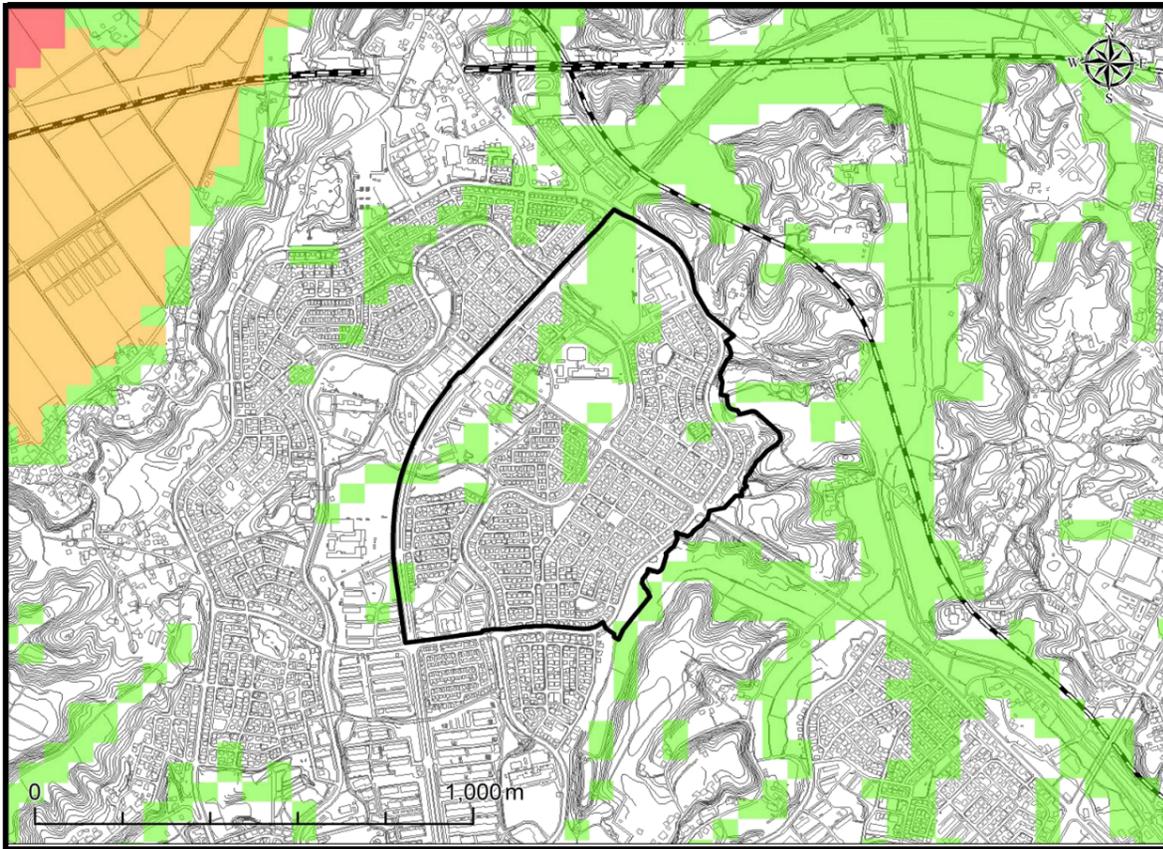


●想定震度階級 (D. 成田市直下地震)

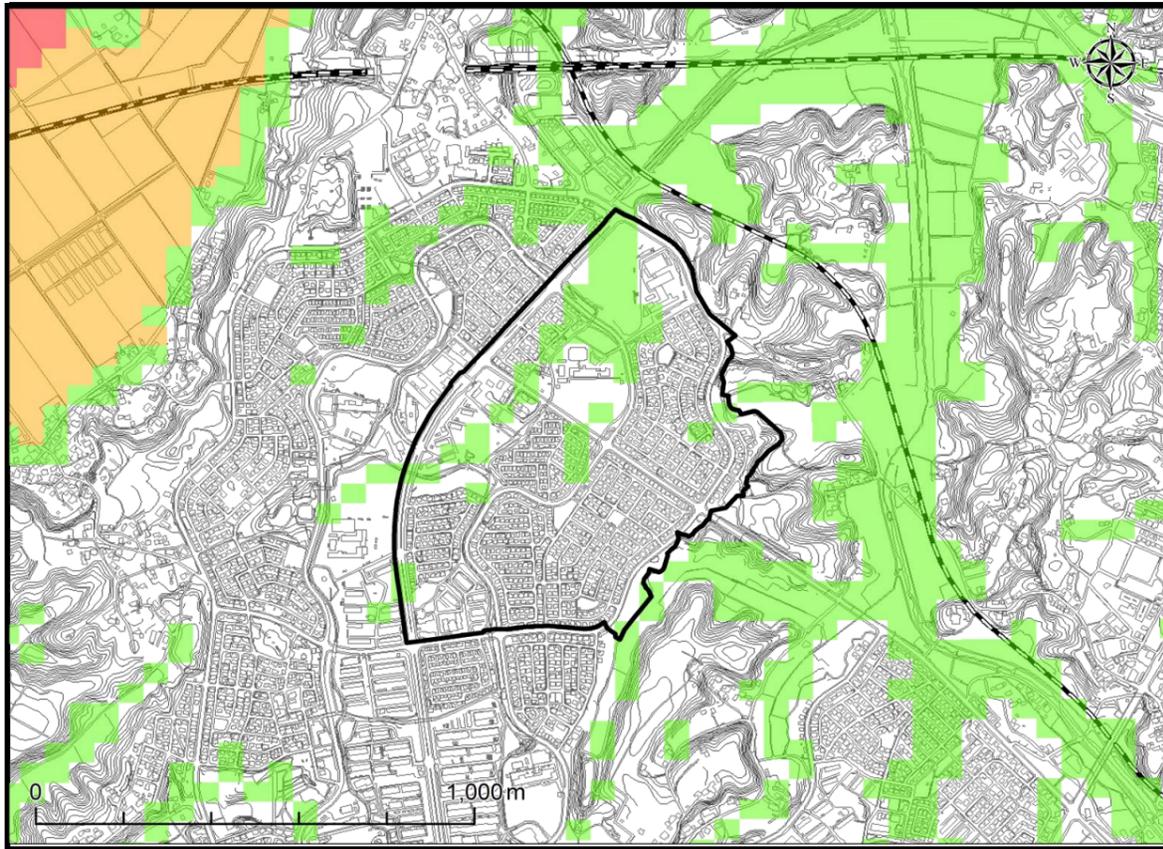


- 凡例
- 震度階級
- 5強
 - 6弱
 - 6強
 - 7

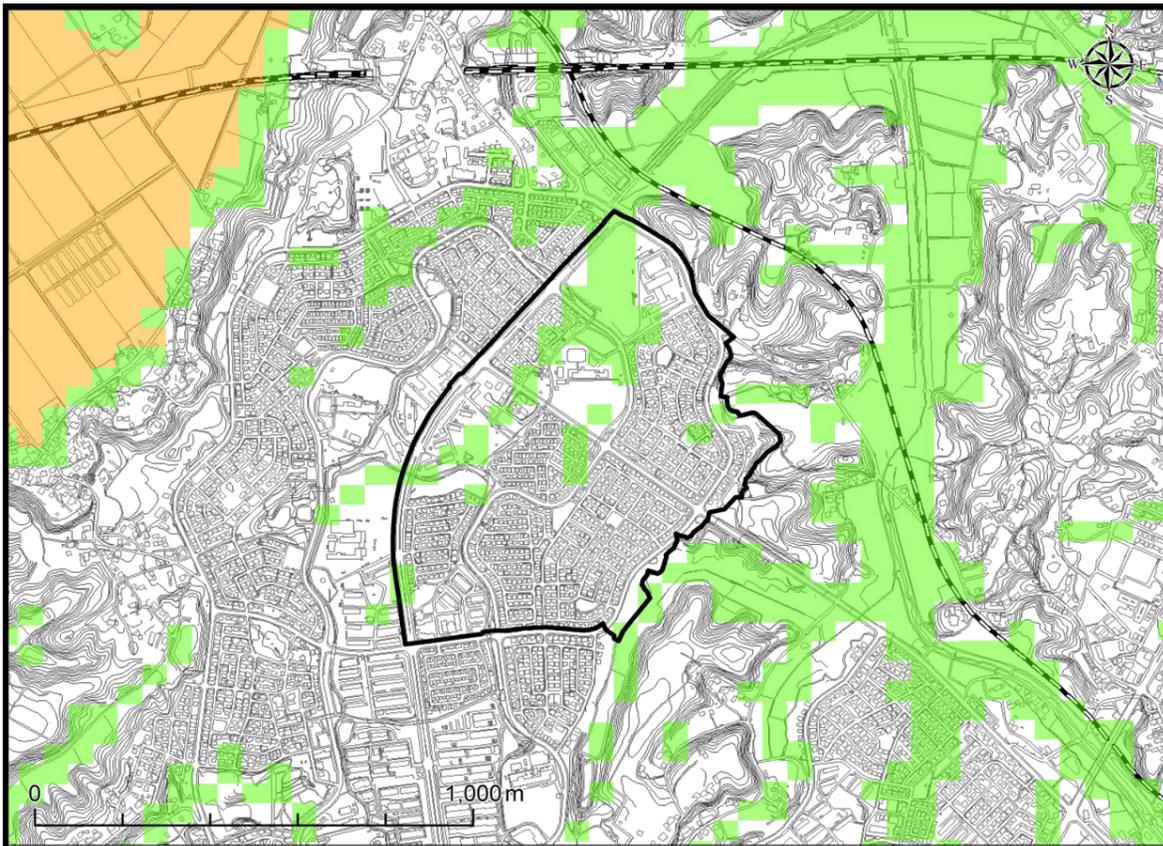
●想定液状化危険度 (A. 千葉県北西部直下地震)



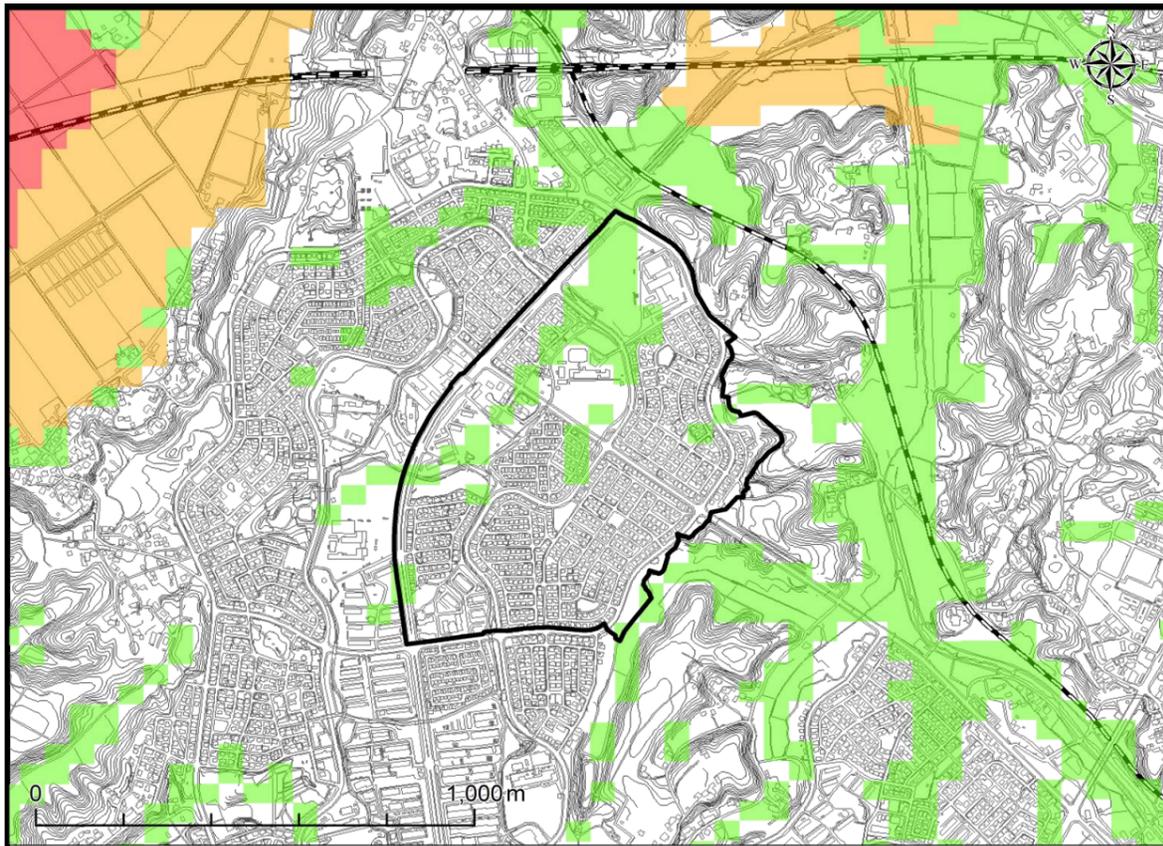
●想定液状化危険度 (B. 成田空港直下地震)



●想定液状化危険度 (C. 茨城県南部地震)



●想定液状化危険度 (D. 成田市直下地震)



当該小学校区の液状化危険度を、想定地震別に50mメッシュで表示した図である。PL値が大きいほど、液状化危険度は高い。

凡例

PL値

15 < PL

5 < PL ≤ 15

0 < PL ≤ 5

PL = 0

平成29年3月31日現在

